



1



2



3



4



5

## 自治区

JICHIKU

昨年度開始した長期プログラム「自治区」では、美術館別棟のプロジェクト工房を中心に、具体的な作品のプレゼンテーションの会場としてではなく、それ以前の「何か」が生まれる予感が充満する場の創出と「自治」の新たなかたちの獲得を目指し、音楽や映画、演劇などさまざまな領域を横断しつつ、ライブ、上映、トーク、ワークショップなど多様な「パブリック・プログラム（PP）」を実施している。

今年度は新たにアーティスト・イン・レジデンス・プログラム（AIR）を加え、2つの柱で構成し、年間を通して金石・大野の地域コミュニティの良さを再発見しつつ、協働・交流の推進を大きな目当てとした。

（中田耕市）

「広場と対話のレッスン」では、平田オリザと飯田哲也が対話し、地方の自立と持続可能な地域社会の豊かさについて講演した。石川県で再生可能エネルギーに取り組む永原伸一郎とデンマーク・サムソ島からソーレン・ハーマンセンもディスカッションに参加。午前中には、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマにした書とアートのワークショップも実施した。

（川守慶之）

“JICHIKU”—a long-term program begun in the previous fiscal year. Presented in the Project Room and other spaces, it features diverse “Public Programs (PP)” of live performances, films, talks, and workshops traversing the fields of music, film, and theater. The program is intended not only as a venue for displaying physical artworks; the aim is to create a venue filled with a premonition of “something” about to be born and give a new form to *jichi* (self-governance).

In fiscal 2018, an Artist in Residence Program (AIR) was added, thus giving Jichiku two main pillars. Activities held throughout the year focused on rediscovering the attractiveness of the Kanaiwa and Ono district communities, with the aim of promoting collaboration and exchange.

（NAKATA Koichi）

In *Hiroba to taiwa no lessun* (“Public Square and Dialogue Lesson”), HIRATA Oriza and IIDA Tetsunari held a dialogue and

lectured on the richness of a sustainable regional society. NAGAHARA Shinichiro, who is engaged in sustainable energy in Ishikawa prefecture, and Søren HERMANSEN from Denmark’s Samsø Island also participated in the discussion. During the morning, a calligraphy and art workshop on Sustainable Development Goals (SDGs) was also held.

（KAWAMORI Yoshiyuki）

- 1-2. 自治区10 広場と対話のレッスン
3. 地域交流プログラム  
〈ムン&ジョンがやってきた! もっと教えて金石!〉
4. ワークショップ〈思い出の陶板づくり〉
5. ワークショップ〈漂流物で楽器をつくる〉

- 1-2. Jichiku 10: Public Square and Dialogue Lesson
3. Regional exchange program,  
“Moon & Jeon Have Come! Teach Us More, Kanazawa!”
4. Workshop, “Nostalgic Ceramic Slab Building”
5. Workshop, “Making Music with Floatage”

## 自治区

JICHIKU

### PP (パブリック・プログラム)

#### 金石大野アートプロジェクト

##### 01 ワークショップ〈思い出の陶板づくり〉

日時：9月8日(土) 13:00-16:00

場所：妙覚寺(金沢市金石西2-14-3)

参加者数：20名

講師：戸出雅彦(陶芸家)

#### 自治区10 広場と対話のレッスン

エネルギーと文化から持続可能な地域社会を  
考える一日

2018年9月29日(土)

主催：

金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]、  
認定NPO法人環境エネルギー政策研究所、  
サムソ・エネルギーアカデミー

#### 金石大野アートプロジェクト

##### 02 ワークショップ

〈思い出のカタチ、シルエットを染める〉

日時：9月22日(土) 10:00-12:00 / 13:30-15:30

場所：大野・築百年の町家(金沢市大野町4丁目84)

参加者数：12名

講師：呉夏枝(現代美術家)

##### 講演「広場と対話のレッスン」

日時：2018年9月29日(土) 13:30-14:30

会場：シアター 21

料金：無料

講師：平田オリザ

##### ディスカッション

「エネルギーと文化から考える地方の自立」

日時：2018年9月29日(土) 15:00-16:30

会場：シアター 21

料金：無料

出演：平田オリザ、飯田哲也、  
ソーレン・ハーマンセン、永原伸一郎

入場者数：130名

##### ワークショップ「書とアートで未来へ対話する」

2018年9月29日(土) 10:15-12:00

会場：プロジェクト工房

料金：無料

講師：マレーネ・ルンデン、坂本杏苑

コメント：平田オリザ

入場者数：10名

#### 金石大野アートプロジェクト

##### 03 ワークショップ

〈漂流物ネームプレートをつくろう!〉

日時：3月23日(土) 13:00-15:30

場所：金石スタジオ(金沢市金石西2丁目17-23)

参加者数：15名

### AIR 1:

#### 田口行弘

##### 滞在期間:

第一期9月25日-11月9日 / 第二期11月26日-12月18日

##### ◎トーク

〈田口行弘さんから金石のみなさまにごあいさつ〉

日時：10月8日(月・祝) 16:00-18:00

場所：金石町公民館講堂

参加者数：32名

##### ◎トーク〈田口行弘 活動紹介〉

日時：10月22日(月) 18:00-19:00

場所：金石町公民館会議室

対象：金石地域の町会長他、町会役員

参加者数：11名

##### ◎ワークショップ

〈益社会(金石地区老人会)との協働による漂流物収集〉

日時：11月8日(木) 7:00-8:00

場所：金石海原

参加者数：12名

##### ◎地域交流プログラム〈漂流物と火を囲む〉

日時：11月8日(木) 17:00-20:00

場所：居場所(金石海原)\*

\*田口氏が制作した漂流物による構造物

参加者数：19名

##### ◎ワークショップ〈漂流物で楽器をつくる〉

日時：12月2日(日) 13:00-15:30

場所：居場所(金石海原)

参加者数：58名

##### ◎地域交流プログラム〈金石スタジオまつり〉

日時：12月16日(日) 13:00-16:00

場所：金石スタジオ

参加者数：221名

### AIR 2:

#### ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ(韓国)

##### 滞在期間:

第一期2月1日-2月10日 / 第二期2月25日-3月15日

##### ◎地域交流プログラム

〈ムン&チョンがやってきた! もっと教えて金石!〉

日時：2月3日(日) 13:00-15:00

場所：金石スタジオ

参加者数：46名

##### ◎地域交流プログラム

〈中間報告会!ムン&チョン 金石での活動の、  
これまでとこれから〉

日時：3月10日(日) 13:00-14:30

場所：金石スタジオ

参加者数：27名